

新しい

べっ と

「別 途」

タウンをつくろう

岩手県立大学

田島ゼミ

山口 麻美

白井 淳子

小山 日香里

須賀 恵

高橋 幸子

佐々木 麻由里



京田辺の印象

私たちが調べられる範囲では・・・

- お茶
- 同志社大学
- 一休(寺)
- ベッドタウン



ベッドタウンのイメージ

- 「寝に帰るだけの場所」
というマイナスイメージ
- 通過点であって
足を止める場所でない



本当に

ベッドタウンなのか？！



なぜならば

- 最高品質の玉露がある
- 国指定の重要文化財がある
- 人口増加が見込まれている
- 大学があって活気がある
- 自然、歴史、文化の融合 etc...



お茶について

プラス面

- 日本一の品質
- 愛着がある etc...

マイナス面

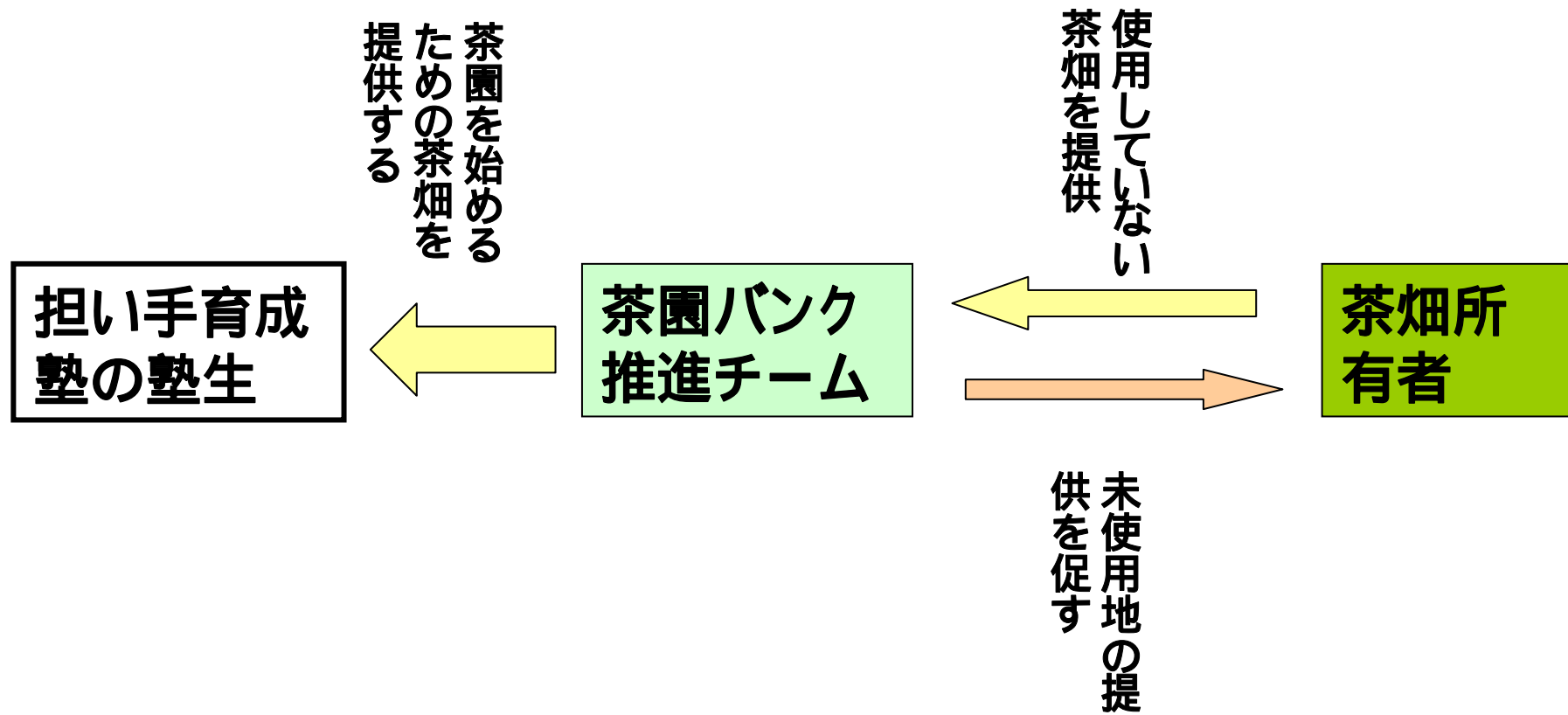
- 利用されていない土地がある
- 最高品質の玉露栽培の維持が困難

京田辺市の取り組み

- 茶園バンク
- 担い手育成塾
- 各種イベント



茶園バンクの仕組み





現状

- 取り組みが市民に周知されていない
(PRが不十分)
- 後継者が不足
- イベントが消費拡大につながらない
- 荒廃地がある



提言

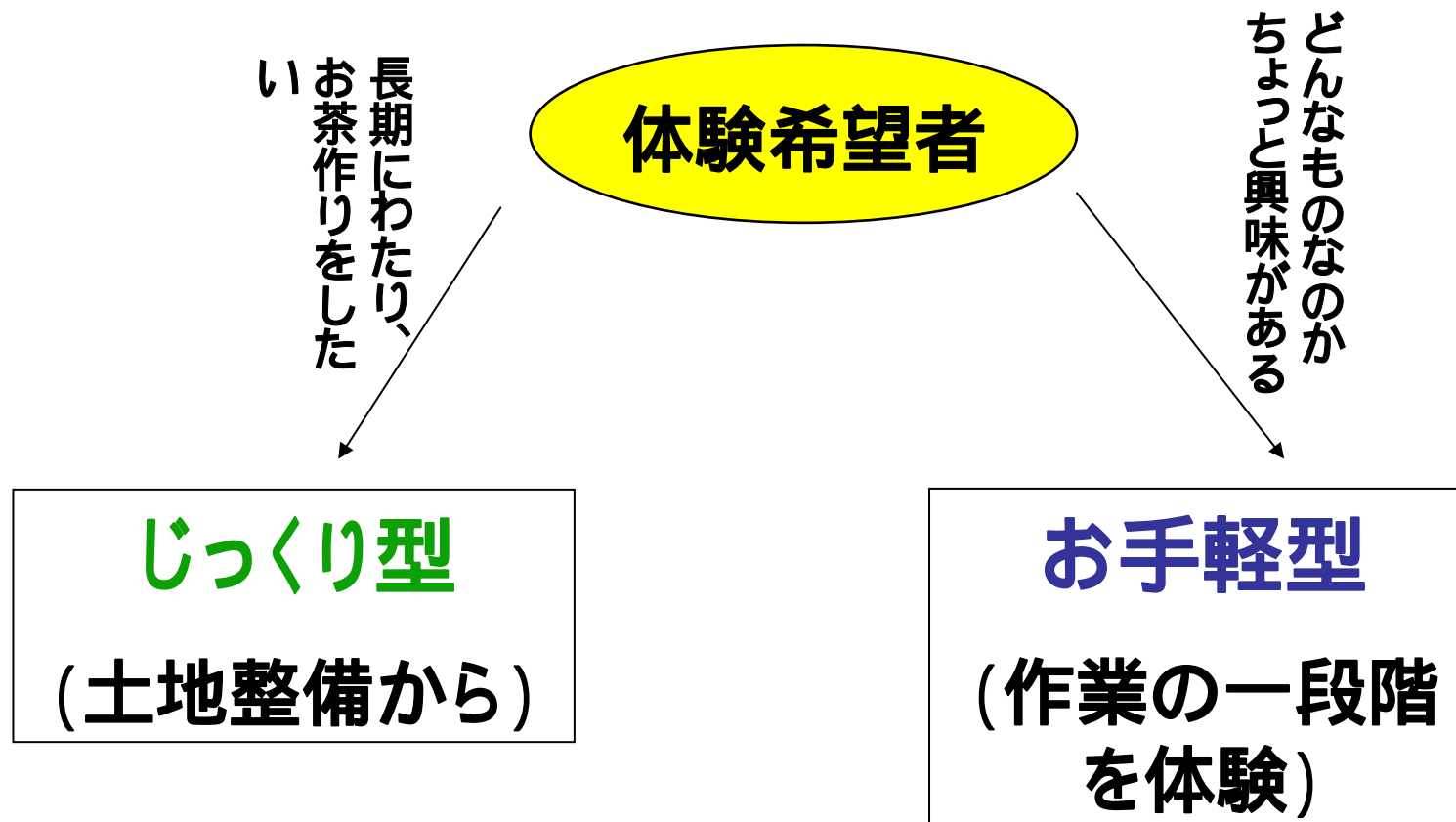
- 荒廃茶園の利用

「My茶」をつくらう！！

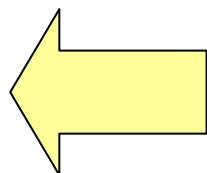
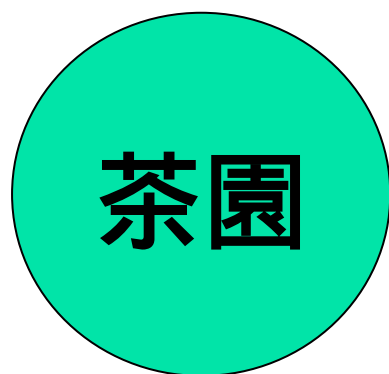
お茶の生産に関わることで

お茶への関心を持ってもらいたい

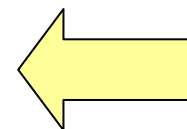
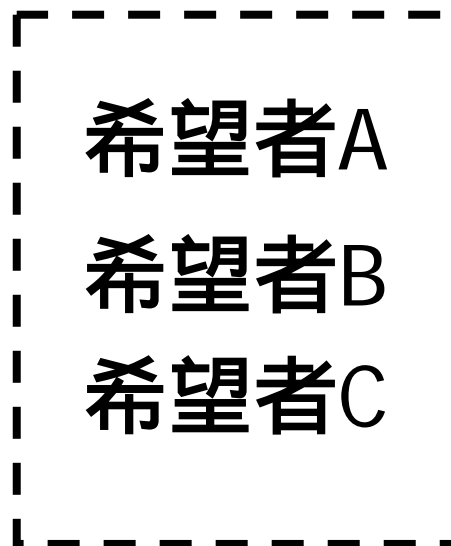
My茶システム



じっくり型



共同保有

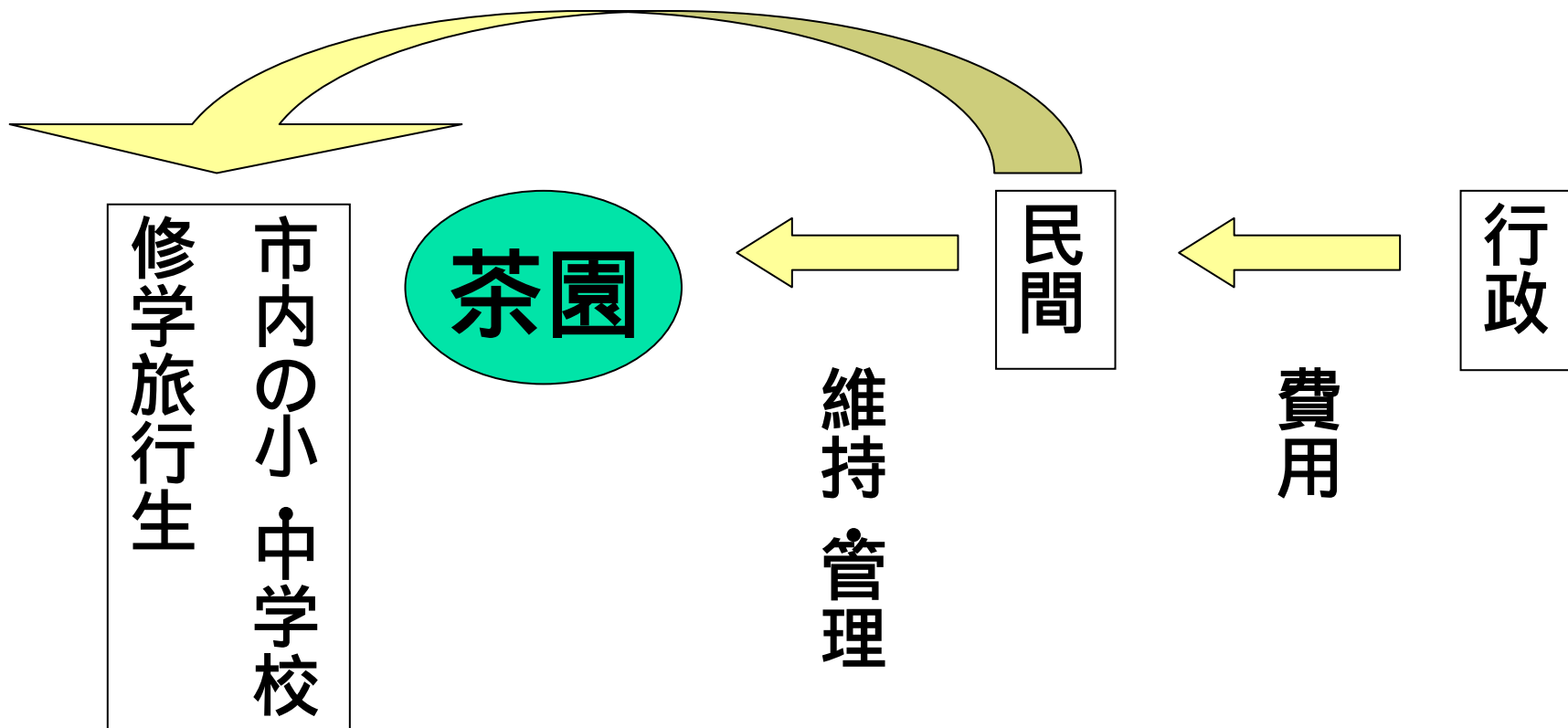


土地の貸出



お手軽型

短期体験のサポート





提言

- PR方法の検討

- 「Teaキャンペーン」

- 駅の構内にポスターを貼る

- 中吊り広告にする

- 新茶の時期などにサンプルを配る



まとめ

- 「寝に帰るだけの場所」ではなく、
楽しむための場所へ
- 通過点ではなく、滞在する場所へ

つまり、「別途」タウンへ

ご静聴ありがとうございました

